

令和 7 年度 横川中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

- (1) 基本目標
『豊かな心をもち 未来を切り拓く力を身に付けた生徒の育成』
～社会で「自立と貢献」ができる人づくりを目指して～
- (2) 具体目標
豊かな心をもち 思いやりのある生徒（徳） 主体的に考え 粘り強く学ぶ生徒（知）
気力にあふれ たくましい生徒（体） 精神的に自立し 他と協働できる生徒（社会性）
- (3) 生徒指標
「強く 聡く 美しく」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- ・「知・徳・体」の育成をバランスよく展開することにより、豊かな心を基盤にしなが、確かな学力や自ら学び考え行動する力、健康な心身などの「生きる力」を育成する。併せて、今後ますます必要とされる社会性の育成についても推進する。
- ・正しい生徒理解や明確な方針に基づいた教育活動を展開することにより、人間尊重の精神を基盤として、生徒の多様な資質や個性を伸ばし、自他を尊重し健全な社会生活を営むことのできる人間の育成を図る。
- ・教職員としての使命を自覚し、自ら研鑽に努め、業務の適正化を図りながら協働した教育実践をしていくことで、保護者や地域との連携を深め、一層信頼される学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 学業指導の充実による、生徒一人一人の将来の自己実現に向けた基盤づくりの推進
- (2) 「確かな学力」を確実に身に付けるための学習指導の推進
- (3) ○豊かな人間性、主体的に生きる力を育む教育の推進
- (4) ○認め、褒めて伸ばす指導による自己肯定感・自己有用感を高める教育の推進
- (5) ○言語環境の整備と人権尊重の教育の推進
- (6) 特別な支援を必要とする生徒のための指導・支援体制の整備及び個に応じた指導・支援の推進
- (7) 専門性や指導力の向上を目指し、相互に学び合い、業務の効率化を図りながら、教育課題に協働して取り組む教職員集団の構築
- (8) ○小学校、家庭、地域との連携による信頼される学校づくり
- (9) 質の高い教育の提供と生徒と向き合う時間の確保に向けた、全教職員による働き方改革の推進

【横川地域学校園教育ビジョン】

「豊かな心の育成を目指す 横川地域学校園の小中一貫教育」
～自分・人・地域を大切にし、主体的に行動できる子どもの育成を目指して～

4 教育課程編成の方針

次の5つの視点を踏まえ、地域とともにある学校づくりを推進していくための教育課程を編成する。

- (1) 「社会に開かれた教育課程」の理念を踏まえたカリキュラム・マネジメントの充実
- (2) 教科・領域における地域の教育資源の活用や連携による「主体的・対話的で深い学び」の充実
- (3) 地域学校園内の小学校との連携・協力による、小中一貫教育の一層の充実
- (4) 保護者や地域住民等への情報発信及び家庭や地域との連携・協働の推進
- (5) 行事や業務の見直しと精選による働き方改革の推進

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校運営	○生徒一人一人のよさや強みを認め、「褒めて伸ばす」指導の充実
(2) 学習指導	○「分かる授業」の展開及び家庭学習の確立による基礎・基本の定着と、「主体的・対話的で深い学びの充実」による思考力、判断力、表現力、学びに向かう力の育成
(3) 児童生徒指導	○「心のたくましさ」を育てる積極的な生徒指導 ○児童生徒の健全育成を目指して—いじめゼロ・あいさつ・時間・言葉づかい—(共通スローガン)～「挑戦する」「我慢する」「あきらめない」「自信を持つ」生徒を育てるための指導の充実～
(4) 健康（保健安全・食育）・体力	○自他の命を大切にし、安全・健康・体力の向上に取り組む生徒の育成

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	A1 生徒は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 教職員の肯定的回答 85%以上	①基礎・基本の定着のため、授業でT Tや習熟度別学習を行うなど、生徒一人一人に個別に対応できる学習指導の体制を整える。 ②放課後学習相談を継続して実施する。 ③「見せ合い授業」等を通して、生徒の興味関心を高める教材を工夫する。 ④言語活動の充実を図る活動を取り入れる。 ⑤思考力・判断力・表現力を高める学習活動の改善を図る。 ⑥問題解決で他者と協力できる人間関係が育成できるような学級経営を行う。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 90.5% 教職員の肯定的回答 95.0% ・評価対象である生徒・教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・「分かる授業」の展開を目指し、授業のねらいの明確化や、振り返りの工夫を行う。 ・学習習慣を身に付けるため、自主学習の指導を徹底する。 ・生徒が見通しを持って学習に取り組めるよう、授業では1単位時間のみならず単元を通して学習の流れを示す。 ・「見せ合い授業」を通して、生徒の興味関心を高める教材を工夫し、思考力・判断力・表現力を高める学習活動の充実を図る。
1- (2) 豊かな心を育む教育の推進	A2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 教職員の肯定的回答 85%以上 保護者の肯定的回答 85%以上	①道徳の授業や学級活動において、様々な場面で思いやりを意識した授業展開を計画実施する。 ②思いやりの心を自然環境やものに対しても持てるよう SDGs と関連させた内容や委員会活動においても計画をする。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 93.2% 教職員の肯定的回答 95.0% 保護者の肯定的回答 84.6% ・評価対象である生徒・教職員の肯定的回答は数値指標を達成したが、保護者の肯定的回答は数値指標を達成できなかった。 【次年度の方針】 ・道徳の授業や学級活動において、様々な場面で思いやりを意識した授業展開を計画実施する。 ・要請訪問での研修を授業に生かし、主体的・対話的で深い学びにつながる授業展開を意識する。 ・ボランティア活動を通して、思いやりの心を育む。SDGs と関連させた委員会活動を計画する。

	<p>A3 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上 教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①将来の目標を実現するために、学級活動の中で身近な職業調べや上級学校調べを行い、計画的に進路の学習を進め、希望をもった生活を送ることができるようなきめ細やかな指導を行っている。</p> <p>②学校生活の様々な場面で、段階的に目標を立て、振り返りを行っていくことで、夢に少しずつ近づけるような指導をしていく。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 80.8% 教職員の肯定的回答 90.0% ・評価対象である生徒・教職員ともに肯定的回答が数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・学校生活の様々な場面で、目標を立てて、それに向かって努力し、振り返ることを通して、目標達成のプロセスを繰り返し指導していく。 ・個別最適な支援をしながら、成功体験を積み重ねることで自信を付けさせ、粘り強く努力する態度を育む。</p>
<p>1-(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進</p>	<p>A4 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①生徒会保健体育委員会の活動を充実させ、生涯にわたった健康的な生活が身につくようきめこまかな指導をしていく。</p> <p>②「うつつのみや元気っ子プロジェクト」を活用しながら具体的な目標を設定しバランスの良い食生活を送ること、体力の増進に努めるなどを自主的にできるようにする。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 91.7% 教職員の肯定的回答 97.5% ・評価対象である生徒・教職員ともに肯定的回答は数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・感染症予防や交通安全などについて、教職員による指導並びに生徒会活動による啓発を行うことで、健康や安全に配慮した生活をさせる。 ・「うつつのみや元気っ子プロジェクト」を活用しながら具体的な目標を設定しバランスの良い食生活を送ること、体力の増進に努めるなどを自主的にできるようにする。</p>
<p>1-(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進</p>	<p>A5 生徒は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①自分自身をしっかりと見つめ、自身のよさを認めることができるような肯定的な声かけをしていく。</p> <p>②普段の学校生活の中で、他人を思いやり協力することの大切さを学ぶ機会を作り、お互いを認め合うことができるような雰囲気作りを大切にしていく。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 89.9% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・生徒一人一人の多様な個性を尊重し、一人一役の活動を通じ、教職員や仲間から多面的に称賛される場面を創出し、自他のよさに気付かせる指導を行っている。 ・行事や清掃等の日常の学校生活の中で、他者と協力する場面を通じて、互いのよさを認め合う集団づくりを推進する。</p>
<p>2-(1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進</p>	<p>A6 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 75%以上</p>	<p>①英語でのコミュニケーション活動を行う機会を増やせるよう、英語科の授業で、場面設定の工夫などをした対話活動を行う。</p> <p>②英語科の授業において、英語で話し合うことの楽しさを感じられるような言語活動の時間を多く取り入れる。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 76.7% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成できなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・英語の授業の中で、コミュニケーション活動の機会を増やせるよう、ペアワークや発表活動を活性化し、互いに認め合う雰囲気の中で、英語による自己表現への自信と意欲を高めるよう指導していく。 ・給食や昼休みの間に、ALTと交流する場を設け、間違いを恐れず気軽にコミュニケーションできる場を生徒に提供していく。</p>

	<p>A7 児童生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①総合的な学習の時間の宇都宮学の授業や地域のボランティア活動を通して、宇都宮の良さを感ぜられる体験ができるような指導を工夫していく。</p> <p>②教科等で地域を題材（(例)社会科の単元「地域の在り方」）と取り上げ、宇都宮についての知識を深める。</p> <p>③給食で「地産地消」の食材を用いるなど、宇都宮の農産物についての興味関心を高める。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 85.8% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・総合的な学習の時間における宇都宮学の授業や、地域のボランティア活動を通して、地域社会に目を向け、宇都宮の良さを感ぜられる体験ができるよう指導の工夫をする。 ・宮っ子ランチなど、普段の「食」にも宇都宮産の食物が使われていることを知り、地域の良さに気付けるような指導をしていく。 ・社会体験学習を通して、地域社会で働いている方たちとその仕事の役割を知ることによって、地域の良さを再認識させる。</p>
<p>2- (2) 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進</p>	<p>A8 生徒は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①生徒にタブレットの正しい扱い方を指導していく。</p> <p>②各教科主任を中心として、タブレットや図書を有効活用した授業実践を行えるようにする。</p> <p>③活用の状況等を記録、発信し、生徒自身が「活用している」と自信を持つる気持ちを養う。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 76.5% 教職員の肯定的回答 97.5% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成できなかったが、教職員の肯定的回答は達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・各教科、図書室を利用した授業を計画的に行い、本から情報を得る方法を身に付けさせる。 ・教科の学習や総合的な学習の時間に、デジタル機器及び図書を効果的に活用した活動を行う。 ・GIGAスクール構想による生徒のタブレット活用を促進する。また、AIDリルの使い方を指導する。</p>
<p>2- (3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進</p>	<p>A9 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 75%以上 教職員の肯定的回答 70%以上</p>	<p>①各教科、領域で「持続可能な社会」について教える。</p> <p>②各種委員会や、SDGsに関連した目標をたて、生徒の意識を高める。</p> <p>③生徒だけでなく、教員側の知識と関心を高める。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 79.2% 教職員の肯定的回答 92.5% ・評価対象である生徒・教職員ともに肯定的回答は数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・各教科、領域で「持続可能な社会」について指導する。 ・各種委員会や、SDGsに関連した目標をたて、生徒の意識を高める。</p>
<p>3- (1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進</p>	<p>A10 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 95%以上</p>	<p>①個々の情報や支援の方針を共通理解し、全職員で対応できるようにする。</p> <p>②気になる生徒について、適宜ケース会議等を実施し、適切な対応が図れるよう検討を行う。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 100.0% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・教職員の特別支援教育研修の充実を図り、多様なニーズに対応できるよう努める。 ・生徒指導部や支援部会で、生徒の状況についての情報共有やケース会議を行った上で、医療機関や相談機関などの外部機関との情報交換を積極的に行うなど、迅速かつ適切な支援活動ができるよう努める。</p>

<p>3- (2) いじめ・不登校対策の充実</p>	<p>A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 95%以上 教職員の肯定的回答 95%以上 保護者の肯定的回答 95%以上</p>	<p>①日常的に生徒の言動に注意し、生徒の出すサインや違和感を見逃さないように意識する。 ②いじめ調査などの調査用紙を活用し、生徒が困り感を表出しやすい環境を整えると共に、訴えについては迅速に対応する早期発見・早期解決の組織的対応を実践する。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 95.9% 教職員の肯定的回答 100.0% 保護者の肯定的回答 81.3% ・評価対象である生徒・教職員の肯定的回答は数値指標を達成したが、保護者の肯定的回答は達成できなかった。</p> <p>B 【次年度の方針】 ・日常的に生徒の言動に注意し、生徒の出すサインや違和感を見逃さないように意識する。 ・生徒が相談しやすい環境を整える一助とした「いじめ調査」等を活用した早期発見と、組織的対応を実践した早期解決に努める。</p>
	<p>A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 95%以上 教職員の肯定的回答 95%以上 保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①学校生活アンケートなどの調査用紙を活用すると共に、教育相談を充実させ学級担任と生徒が信頼関係を構築できるように努める。 ②別室登校の環境を整え、様々なニーズに合った対応が可能になる体制を構築する。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 96.1% 教職員の肯定的回答 100.0% 保護者の肯定的回答 87.4% ・評価対象である生徒・教職員の肯定的回答は数値指標を達成したが、保護者の肯定的回答は達成できなかった。</p> <p>B 【次年度の方針】 ・宮っ子ダイアリーだけでなく、「学校生活アンケート」や教育相談などを活用し、教師と生徒との信頼関係の構築に努める。 ・別室登校の環境を整え、様々なニーズに合った対応が可能になる支援体制構築に努める。</p>
<p>3- (3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実</p> <p>3- (4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化</p>	<p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上 教職員の肯定的回答 90%以上 保護者の肯定的回答 80%以上 地域の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①担当委員会が提案するだけでなく、横のつながりを大切に、委員会の枠を超えて横断的に活動をしていくようにする。 ②地域や小中の連携を図りながら、ボランティア活動や募金などを委員の生徒のみならず、全校生徒に周知して積極的な活動を目指す。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 95.5% 教職員の肯定的回答 100.0% 保護者の肯定的回答 86.7% 地域の肯定的回答 100.0% ・評価対象である生徒・教職員・保護者地域の肯定的回答は数値指標を達成した。</p> <p>B 【次年度の方針】 ・これまでの取組を継続し、学校行事で生徒会や学級委員長が中心となり、生徒が主体的に活動できる環境を整え、リーダーの育成に力を入れる。 ・互いに尊重し合い、安心して自分を表現できる環境を整えることで、笑顔が絶えず、自己有用感をもって誰もが明るくいいきと活動できる活気ある雰囲気づくりを行っていく。 ・確かな信頼関係を基盤に、全ての生徒が主役になれる場面をつくる。認め合い、励まし合う温かな交流を通して、あいさつを基盤にした明るい教育活動の展開を工夫する。</p>

<p>4- (1) 教職員の資 質・能力の 向上</p>	<p>A14 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上 教職員の肯定的回答 95%以上 保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①定期テストや学力調査などの解答傾向の分析をもとに、教科ごとの課題を明確にする。</p> <p>②教科ごとの課題を改善するために、「見せ合い授業」などを通して、授業改善に努めていく。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 94.8% 教職員の肯定的回答 97.5% 保護者の肯定的回答 81.9% ・評価対象である生徒・教職員の肯定的回答は数値指標を達成したが、保護者の肯定的回答は達成できなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・宇都宮モデルの「はっきり！じっくり！すっきり！」を踏まえた授業展開を進める。 ・教科ごとの課題を明確にして、教員同士が「見せ合い授業」等を通して、研究授業に努める。 ・ICT機器を利用した授業実践を積み重ねていくことで、教員のICT機器に関する授業力向上を図る。 ・学習に関するたよりやHPで学力向上の取組を紹介するなどして、保護者に情報を発信する。</p>
<p>4- (2) チーム力の 向上</p>	<p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①学校経営方針や重点目標を、全教職員が意識し個々の力を適切に発揮しながら業務に取り組む。</p> <p>②施設安全については、学校業務・機動班と連携し迅速に対処する。</p> <p>③教育相談や生徒指導については、SCやMSや関係機関と連携し早期解決・早期対応に勤める。</p> <p>④各主任主事を中心に情報の提供やミニ会議等を実施し、共通理解を図り実行していく。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 100.0% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・学校経営方針や重点目標を全職員が意識し、個々の力を適切に発揮しながら業務に取り組めるよう、生徒や学校業務に関する内容の共通理解を図っていく。 ・報告・連絡・相談を徹底し、関係諸機関と連携しながら組織として迅速かつ柔軟に課題解決へ取り組む体制を構築していく。</p>
<p>4- (3) 学校におけ る働き方改 革の推進</p>	<p>A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①業務内容を精選し、勤務時間を意識しながら業務に取り組める雰囲気づくりを行う。</p> <p>②教材、行事や業務について、資料の共有を職員間で行い、各業務の効率化を図る。</p> <p>③行事の有用性や内容を踏まえながら精選を図るとともに、生徒が十分な活動を行えるよう時間を生み出す工夫を積極的に行っていく。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 100.0% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・業務内容を精選し、勤務時間を意識しながら業務に取り組める雰囲気づくりを行う。 ・ICTの積極的な活用により校務のデジタル化を推進し、生徒と向き合う時間を確保していく。</p>

<p>5- (1) 全市的な学校運営・教育活動の充実</p>	<p>A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 75%以上 教職員の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 80%以上 地域の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①「小中交流あいさつ運動」、「乗り入れ授業」などを通して、教師や児童・生徒同士の連携を図り、その様子を発信する。 ②要請訪問や校内授業研究会への参加を通して、小中間の授業に関する情報交換及び授業力向上を目指す。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 83.3% 教職員の肯定的回答 95.0% 保護者の肯定的回答 85.0% 地域の肯定的回答 100.0% ・評価対象である生徒・教職員・保護者・地域の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・「小中交流あいさつ運動」、「乗り入れ授業」などを通して、教師や児童・生徒同士の連携を図っていく。 ・「6年生の中学校訪問」が充実した交流の機会になるよう、計画実施を工夫していく。</p>
<p>5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進</p>	<p>A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 70%以上 教職員の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 80%以上 地域の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①魅力ある学校づくり地域協議会とPTAと生徒会が連携することで、活動の充実を図るようになる。 ②地域のボランティア活動との協力を継続し、郷土への愛着が強まるようになる。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 78.8% 教職員の肯定的回答 95.0% 保護者の肯定的回答 89.3% 地域の肯定的回答 100.0% ・評価対象である生徒・教職員・保護者・地域の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・学級懇談や三者懇談を通して、家庭と生徒理解を深め、生徒のよさを認め、伸ばせるよう協力し合える関係を築く。 ・地域行事への参画やボランティア活動を通じ、生徒の社会性を養うとともに地域に愛され貢献する生徒を育ていく。</p>
<p>6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進</p>	<p>A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上 保護者の肯定的回答 90%以上 地域の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①学校安全点検をしっかりと行い、修繕すべきところは素早く対応していく。 ②防災訓練等を定期的に行い、安全に関する知識を身に付けさせる。 ③活動状況を記録、発信することで、広く周知し防災・減災の意識向上を図る。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 100.0% 保護者の肯定的回答 89.7% 地域の肯定的回答 100.0% ・評価対象である教職員・地域の肯定的回答は数値指標を達成したが、保護者の肯定的回答は達成できなかった。 【次年度の方針】 ・学校安全点検をしっかりと行い、修繕すべきところは素早く対応していく。 ・防災訓練等を定期的に行い、安全に関する知識を身に付けさせる。 ・各担当とよくコミュニケーションを取りながら行っていく。</p>
<p>6- (2) 学校のデジタル化推進</p>	<p>A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①ICT機器を利用して個別最適化された授業を展開する。 ②協働的な学びを支援する。 ③職員研修を行うことで、機器の取り扱いや生徒への指導ができるよう教職員の資質向上を図る。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 97.5% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・ICT機器の活用方法について研修をする。 ・AIドリルの使い方を研修し、生徒に効果的な活用方法を指導できるようにする。 ・採点ソフトを活用して業務の効率化を図る。</p>

小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	<p>B1 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>生徒の肯定的回答 90%以上 教職員の肯定的回答 90%以上 保護者の肯定的回答 90%以上 地域の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①時と場に応じ、誠意のある品の良いあいさつや会話ができるよう指導する。</p> <p>②生徒会とも連携し、あいさつ運動やあいさつコンクールなどを実施し、あいさつの大切さを実感させ、意識向上に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答 97.1% 教職員の肯定的回答 87.5% 保護者の肯定的回答 89.2% 地域の肯定的回答 93.3% ・評価対象である生徒・地域の肯定的回答は数値指標を達成したが、教職員・保護者の肯定的回答は達成できなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・時と場に応じ、誠意のある品の良いあいさつや会話ができるよう指導する。 ・生徒会とも連携し、あいさつ運動やあいさつコンクールなどを実施し、あいさつの大切さを実感させ、意識向上に努める。</p>
	<p>B2 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>生徒の肯定的回答 85%以上 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①チャイム前着席など、時間に余裕をもって行動することを指導する。</p> <p>②「学校の決まり」について見直しが必要な部分については、生徒会とも連携を図り積極的に実践する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答 96.6% 教職員の肯定的回答 92.5% ・評価対象である生徒・教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・「5分前行動、3分前着席」など、時間に余裕をもって行動することを指導する。 ・「学校の決まり」について、見直しが必要な部分については生徒会と連携を図り、積極的に見直す。</p>
	<p>B3 生徒は、主体的かつ継続的に家庭学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>生徒の肯定的回答 85%以上 保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①「自主学習の手引き」を活用することで、生徒各自が学習の見通しをもって学習できる環境を整える。</p> <p>②定期テストや長期休業前などに、参考になる自主学習ノートの活用例を生徒、保護者に紹介することで、学習意欲の喚起に努める。</p> <p>③定期テストで、全学年共通の計画表、振り返り表を活用することで、テスト前の家庭学習の確立に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答 77.9% 保護者の肯定的回答 75.5% ・評価対象である生徒・保護者の肯定的回答は数値指標を達成できなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・自主学習の手引きを利用して、学習内容について「めあて」「振り返り」を記入することで、次の目標をもって学習に取り組む習慣をつけさせる。 ・参考になる自主学習ノートの紹介を行うことで、生徒の学習意欲の喚起に努める。 ・定期テスト前の学習計画作成や、テスト実施後の振り返りを通して、自己調整能力を育み、次回のテストまでの学習を工夫できるよう指導する。</p>
<p>B4 教職員は生徒のよさを認め、励ます声掛けを行っている。</p> <p>【数値目標】</p> <p>生徒の肯定的回答 85%以上 教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①学校行事などを通して、生徒が主体となって取り組む内容を検討し、必要に応じて教員が助言を行うことにより、生徒の主体性の育成と自己肯定感の高まりを図る。</p> <p>②学校生活アンケートでの善行についての記入を活用し、生徒への積極的な声かけを実践する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答 93.2% 教職員の肯定的回答 97.5% ・評価対象である生徒・教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・学校行事などを通して、生徒が主体となって取り組む内容を検討し、必要に応じて教員が助言を行うことにより、生徒の主体性の育成と自己肯定感の高まりを図る。 ・「学校生活アンケート」での善行についての記入を活用し、生徒を認め・褒め・励ます声掛けを積極的に実践する。</p>	

<p>B5 生徒は、読書の時間や家庭において進んで読書を行い、読書に親しんでいる。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①朝の読書を毎日実施し、読書の習慣づけを図る。</p> <p>②読書週間を設け、図書委員会の生徒主体となって、朗読放送やお話給食を実施し、読書の啓発を推進する。</p> <p>③図書だよりを通じて、家庭での読書のすすめを呼びかける。また、家読デイを設け、家庭での読書を呼びかける。</p> <p>④図書室内の環境整備と、図書の整理整頓を行う。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 68.4% 教職員の肯定的回答 97.5% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成したが、生徒の肯定的回答は達成できなかった。</p> <p>B 【次年度の方針】 ・朝の読書の時間で読書に親しむ習慣を身に付ける。 ・図書だよりを通じて、家庭での読書のすすめを呼びかける。 ・家読デイや読書週間を利用し、家庭で読書をする機会を創出し、読書に親しみ進んで読書をする下地をつくる。</p>
<p>B6 教職員は、定期的に交通指導や登校指導を行い、交通事故防止に努めている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 教職員の肯定的回答 85%以上 保護者の肯定的回答 85%以上 地域の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①保護者との連携のもと、登校指導、下校指導を引き続き行っていく。通学路の危険個所や交通ルール遵守の徹底を生徒へ呼び掛ける。</p> <p>②さくら連絡網やPTAなどで周知、協力依頼をお願いする。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 98.0% 教職員の肯定的回答 100.0% 保護者の肯定的回答 86.9% 地域の肯定的回答 100.0% ・評価対象である生徒・教職員・保護者地域の肯定的回答は数値指標を達成した。</p> <p>B 【次年度の方針】 ・保護者との連携のもと、登校指導、下校指導を引き続き行う。通学路の危険個所や交通ルール遵守の徹底を生徒へ呼び掛ける。 ・交通ルールの遵守について、さくら連絡網や保護者会などで各家庭にも周知し、協力を依頼する。</p>

【総合的な評価】

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学習面】

○・A1では、生徒は他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組む姿勢が、昨年度と比較して+3.3ポイント向上している。今後も授業改善を図り、生徒による主体的で対話的な深い学びの実現に向けて後押しする。

・A6では英語を使ったコミュニケーションで+6.0ポイント、A8ではデジタル機器や図書等を活用した学習で+7.8ポイント増加し、取組に改善が見られる。

・A14では、教職員による「分かる授業」やきめ細かな指導を通じた学力向上への取組は、保護者の評価が+4.9ポイントとなっている。次年度も、個別最適な学びと協働的な学びのバランスに配慮し、さらなる授業改善を推進する。

【生活面】

○・生徒の「思いやりの心(A2)」では+4.8ポイント、目標に向かって粘り強く取り組む姿勢(A3)では+1.5ポイント、肯定的回答割合が増加しており、生徒の健全育成に一定の成果が表れている。

○・A12では、教職員が不登校を生まない学級経営を行っていることについて、生徒の96.1%の肯定的回答に対して、保護者の回答は昨年度比-1.6ポイントの87.4%であった。各学級における安心・安全な雰囲気づくりに向けて、今後も思いやりの心を育む学級経営を推進する。

・B2では、生徒の肯定的回答が96.6%であるが、きまりやマナーの意義を理解していない生徒もいる。今後は、決まりの意義や意味を認識して、自ら積極的に守っていく生徒の育成を図る。

【学校運営・連携】

・教職員間でのチーム協力体制や業務効率化への意識が向上しており、組織的な学校運営が強化されている。

・A18では、家庭・地域・企業等と連携・協力した教育活動や学校運営について、保護者、地域住民から高い評価をいただいた。今後も地域とともにある学校づくりを推進する。

7 学校関係者評価

- ・生徒が学校のきまりの意味や理由を理解し、教師とともに「納得のいくきまり」を作り、守る生活を送ることを目指す取組を一層行ってもらいたい。
- ・経年比較では、生徒の肯定的な回答割合がすべての項目で令和6年度の結果を上回っており、取組の成果が示唆されている。
- ・A11「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。」では、いじめの未然防止に向けた取組や、生徒の悩みに対する相談体制が機能していると考えられる。
- ・A13「学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。」では、多くの生徒が学校生活を明るく感じ、友人と仲良くできていると感じており、良好な人間関係が築かれていると思われる。
- ・次年度も、生徒一人一人の健全育成に向けて尽力してほしい。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学習面】

- ・主体的・対話的な学びやデジタル活用の面で見られた改善を加速させ、生徒が自ら課題を見つけ、他者との協働によって解決する力をさらに高める。
 - ・教師の学習指導の質の向上を図り、「分かる授業」を継続しつつ、個々の習熟度に合わせた「個別最適な学び」と、他者と高め合う「協働的な学び」をバランスよく配置し、基礎学力・学び方・課題解決の方法の定着を図る。

【生活面】

- ・生徒が学校のきまりの背景（理由や意味）を理解するだけでなく、公共の精神やマナーの意義を自ら考え、行動できる人間へと成長するために、教職員とともにきまりを検討・改善するプロセスを検討・導入する。

【学校運営・連携】

- ・全ての生徒が「大切にされている」と実感できる活気ある雰囲気づくりを継続し、いじめや悩みの相談体制の機能をさらに強化する。
- ・不登校を生まず、誰もが安心して登校できる環境づくりについて、学校の取組を保護者へより丁寧に発信し、家庭との連携を深める。
 - ・地域住民や企業等との連携を深化させ、生徒が社会との繋がりを実感できる教育活動を継続・発展させる。